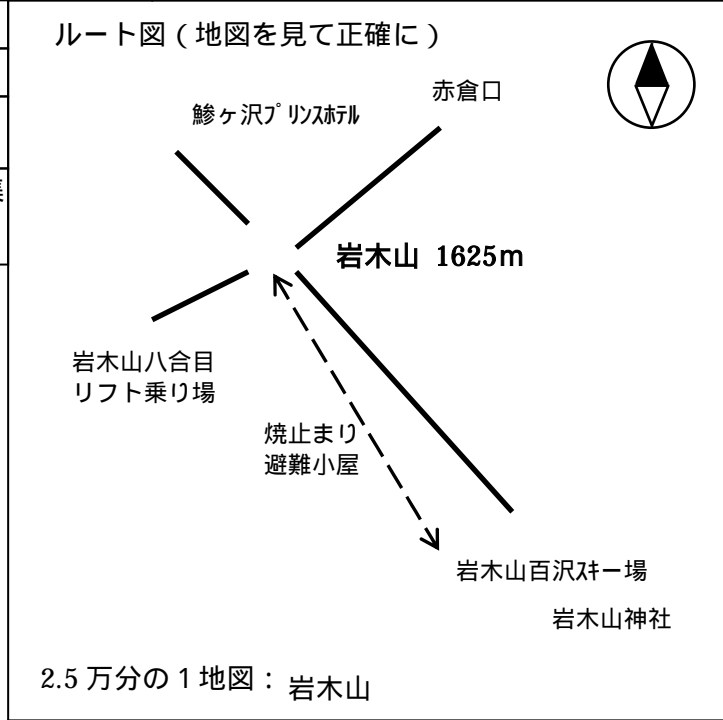


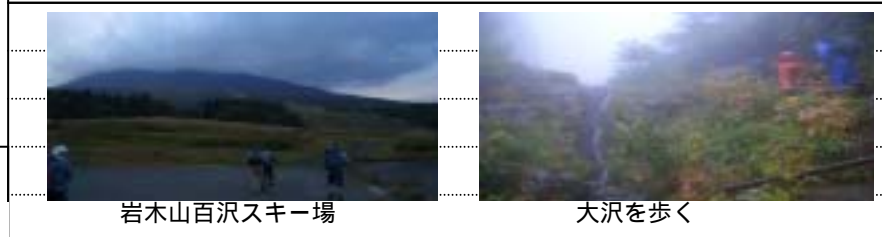
10月度 例会 山行報告書		報告者	金子 清	参加 メンバー	CL 藤田健治 SL 塚本英吾 福井正信 竹内幹雄 金子清
個人		報告日	11/08		
山域	東北の山	山行日	06年 10月 13日(金)		
山名	岩木山				
山行目的	紅葉山行		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1 リーダー
原紙:集 会担当者



10/14 曇りのち雨	12:00 姥石 ~ 10
05:00 起床	12:40 岩木山百沢スキー場着
06:10 岩木山百沢スキー場発	
07:05 姥石 ~ 20	
08:05 焼止まり避難小屋 ~ 20	
09:00 錫杖清水	
09:20 鳳鳴小屋	
09:40 頂上	
10:10	
11:10 焼止まり避難小屋 ~ 30	

山行報告 岩木山、山頂からの大パノラマを楽しみにしていただく、本日の天候は曇り、頂上付近には大きな雨雲がかかり、今にも降り出しそうな状況である。朝食、登山準備を済ませ、06:10に岩木山百沢スキー場の駐車場を出発する。登山者は我々だけである。5分程登ると登山道にでる。焼止まり避難小屋までは樹林帯を歩く。途中、姥石付近で雨が降り出し、カッパを着ける。小屋はブロック造りで綺麗に整理されている。冬季小屋としても利用されている。小屋からは大沢に入り、沢を登って行く。紅葉が美しい。鳳鳴小屋で岩木山八合目からの登山者と出会う。雨はあられに変わり、濡れた手袋が冷たい。09:40頂上着。ガスがかかり、期待していた大パノラマは残念ながら見ることは出来なかった。晴れていれば、八甲田山、白神岳、岩手山、遠くは北海道の松前半島まで見えるはずだったのに……。登頂記念写真を撮り、山頂避難小屋で30分程休憩を取った。下山は往路と同じコースを歩く。途中、岩木山八合目からの大勢の登山者と出会う。焼止まり避難小屋まで下ると雨も上がり、麓の景色を楽しみながらスキー場まで下った。(行動時間:6時間30分)



岩木山百沢スキー場

大沢を歩く

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

岩木山山頂にて(全員集合)

確認 (リーダー)	藤田
作成 (報告者)	金子

「シーハイルの歌」は永く口ずさんできた山の歌の一つであるが、念願がかなって岩木山の頂きを踏むことができた。前日、弘前の町から眺めた津軽富士の眺望も良かったが、曇りの中で仲間との登頂も記憶に残る登山でよかった。